

アルペジオ新聞

第44号

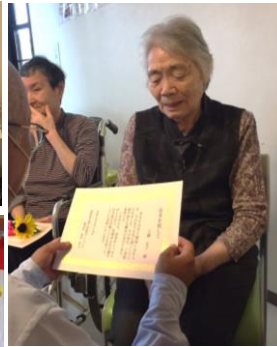
発行 2023.10.10
社会福祉法人 光寿会
介護老人福祉施設アルペジオ
施設長 東村 智之
編集 広報委員会
帯広市自由が丘5丁目16番地9
TEL:0155-38-3301

百寿・米寿各1名

九月十九日、入居者様二十九名全員参加いただき、令和五年度アルペジオ敬老会を開催いたしました。

東村施設長の挨拶の後、百寿を迎えられた古頭さえ様、米寿を迎えられた方に表彰状を授与。続いて、他の入居者様全員に、賞状を贈呈させていただきました。

今回は賞状にひまわりの花を添えさせていただきました。ひまわりの花言葉は「あなたを見つめている」「あこがれ」。「人生の先輩達のご苦労や願いを見つめ、理解し、敬意の念を忘れず、日々一緒に過ごしていきたい」と思います。



ご家族からのお手紙 受け取り「満面の笑み」

また今年も、「ご家族からのお手紙」を書いて頂き、ラミネート加工して利用者様にお渡ししました。受け取った利用者様たちはとても喜ばれ、笑みがこぼれていました！

アルペジオは施設で百歳を迎えられる利用者様がとても多いんです！職員たちもたくさん元気をもらっています！
来年も再来年も、皆様と敬老の日をお迎えできることを心より祈念いたします。

久しぶりに家族と一緒に

八月二十二日、アルペジオ夏祭りが開催されました。コロナ禍でここ数年はご家族様のご参加を見合わせていたため、今年はお家族様にご参加いただくことができ、やっと本来に近い形での開催となりました。

夏祭りの楽しみといえばやはり縁日の食べ物！何が食べたいか、利用者様にもご希望を伺い、焼き鳥（食べやすくするために一度蒸します）、たこやき、チヨコバナナ、綿あめなどのお祭りらしいおやつ、涼しげな見た目のゼリーを召し上がっていただきました。利用者様たちからは「美味しい！」「かわいい」などの声も聞かれ、笑顔もたくさん見られました！

ゲームはヨーヨー釣り、千本くじなどを行いました。暑い中、外でお祭りを楽しまれ、みんなで夏らしさを感じる時間を過ごして頂くことができました。



アルペジオ夏祭り



最後は室内で職員による歌謡シヨロヤちんどん屋盆踊りで大盛況のなか締めくくりました。今年初の試みとして、ホワイエに仕事を提供下さっている（株）あふる様の不要衣類の回収コーナーを設置、たくさんの方も集まりました。ご家族様にご参加いただき、利用者様にもたくさん笑顔がみられた夏祭りとなりました！

デイサービスホワイト 活動報告

利用者様持参の法被を着て 祝鶴やヨサコイで敬老会



九月十九日に敬老会を行いました！おやつの間には職員手作りの祝い鶴を置き、普段とは違う雰囲気からスタート！その後、日頃の感謝を込めて敬老の日カードを渡しました。

皆様が来ている半被は利用者様に持参頂いた、帯で出来た素敵な半被。それを着用しYOSAKOIよっちゃよれ！を元気に躍らせて頂きました。最後はビンゴ大会で大盛り上がり。

「素敵なカード、ありがとう！」「ここに来ると元気になるわ！」等とても嬉しい言葉を頂くことが出来ました！皆様本当にありがとうございます！

ばんえい競馬・ワイン場・イオン… この夏もたくさん出かけました



外出レクリエーションでは、利用者様の希望に沿った場所を選んで様々な場所に行っております。今年の夏はとても暑かったため、アイスを食べに行くことが多かったですね！

他にも、競馬好きの方・動物好きの方と一緒に「ばんえい競馬」にも行ってきました！ばんえい競馬では、迫力のあるレースを観たり、ふれあい広場で動物と触れ合い楽しむことができました。ホワイトにはショッピング好きな利用者様も多かったので、イオンで買い物したり、長崎屋が閉店してしまうという話を聞



いた利用者様からは、「閉まる前にいきいたいね」という声が出ていたので、長崎屋にも！

店内は物が無くなり少し寂しさもある中、昼食にインデアンカレーも食べましたよ！

他には、昔池田ワイン城によく行って「た」という声もあり、リニューアルした池田ワイン城にも行きました！

到着してからは、工場見学をし、景色のいい所で、がどうジュースを飲みました！利用者様からは、「天気もいいし、景色がすごくきれいで最高！」と喜びの声も頂きました。

編集後記

◇アルペジオに着任し半年が過ぎました。利用者様や職員の笑顔、ご家族様の利用者様への想いに触れるにつけ、日々エネルギーが補充されています。

◇この夏は、コロナが5類になったことから、家族と一緒に夏祭りを開催したり、大勢で敬老会を行ったり…と日常を取り戻してきました。幸いこの間、アルペジオ・ホワイト利用者からの感染はありません。しかし、巷ではまだまだコロナとインフルエンザの感染を耳にします。感染予防に心がけながら、心と体が元気になる活動・生活を創ってまいります。

◇朝夕の寒さを感じる季節になりました。皆様にはくれぐれも、ご自愛くださいますよう。

(施設長 東村)

避難訓練



九月二十八日、アルペジオの避難訓練を実施いたしました。

震度7の地震がおき、ポイラー付近から出一階のワルツ・マーチユニットは地域交流スペースのハートモニーへ。二階のポルカユニット、通所ホワイトは、ポルカユニットの非常階段前へ避難しました。



実際に火災報知器を鳴らし、とても大きな音にびっくりされる利用者様もいましたが、安全に避難することができました。

今回は、利用者様が負傷された時の看護師の処置や利用者カードの活用方法と居室カードを使い避難を完了した利用者様を本部で把握する要領も訓練できました。

各職員も役割を把握し、迅速な誘導が行えていました。そのほかにも防災委員会でもBCPの勉強会を行い、災害に対する意識も高めていきます！